

海外向け債権の現状

平成12年3月末の当行の海外向け債権額(トランスファーリスク・ベース)は319億ドル(3兆3,869億円)となっています。地域別債権額では、北米および西欧の先進諸国向け債権が全体の3分の2を占めています。残り3分の1はアジア地域を中心としたエマージング諸国向け債権で、そのうちアジア向け債権が7割近くを占めており、当行にとってアジア地域が重要な戦略地域であることには変わりはありません。

当行では、アジア通貨危機を発端とする経済環境悪化に伴い、平成9年度よりアジア地域向け債権に対しては、自己査定に基づく引当に加えて蓋然的なリスクに対する引当の積み増しを行ってきました。平成11年よりアジア経済は回復傾向を示し、各国で経済成長がプラスに転じており、加えてアジア通貨危機の影響により大きく打撃を受けた企業に対しては自己査定に基づく個別引当による対応が進んだため、蓋然的に積み増した部分は、その役割を終えたものと判断し、平成12年3月末において取り崩しを行いました。アジア地域向け債権に対する引当金の総額は4.6億ドルとなり、債権総額93億ドルに対する平均引当率は4.9%と前年並みを維持しています。また、特にインドネシアに対しては、個別および一般貸倒引当とは別に特定海外債権引当勘定での引当を行っており、引当率は33.2%となっています。

海外向け債権および引当の状況(単体)

(平成12年3月末)

(単位:百万ドル)

区分	与信残高(トランスファーリスク・ベース)					引当金額	引当率(%) /
	ソブリン	日系	非日系	金融機関			
海外合計	31,907	4,305	8,838	14,340	4,424	565	1.8
アジア計	9,286	1,457	1,942	4,853	1,034	456	4.9
香港	2,247	87	332	1,794	34	26	1.2
中国	1,433	696	527	196	14	87	6.1
韓国	1,364	0	4	764	596	6	0.4
シンガポール	1,212	215	551	369	77	5	0.4
タイ	990	140	273	477	100	40	4.0
インドネシア	771	83	121	475	92	256	33.2
マレーシア	517	123	121	266	7	16	3.1
台湾	396	7	0	303	86	10	2.5
インド	286	92	12	175	7	5	1.7
フィリピン	65	13	1	34	17	0	0.0
中南米計	833	95	354	140	244	6	0.7
うちブラジル	527	1	314	12	200	1	0.2
うちメキシコ	75	20	0	28	27	4	5.3
東欧計	377	151	0	190	36	19	5.0
うちスロバキア	107	69	0	37	1	11	10.3
うちハンガリー	42	4	0	28	10	0	0.0
うちロシア	6	0	0	6	0	6	100.0
北米計	10,688	929	3,192	5,638	929	48	0.4
西欧計	8,572	1,331	2,472	3,053	1,716	21	0.2
その他地域計	2,151	342	878	466	465	15	0.7

(注) 1.トランスファーリスク・ベースとは、与信の最終リスクの負担者の所在国に基づいた実質リスクベースの意味です。

例えば、日系企業の母社保証付与信は日本リスクとしています。

2.対象債権は、貸出金、有価証券、支払承諾見返、資金放出等であり、地場通貨建与信を含む実行残高を計上しています。

3.引当金額には、個別貸倒引当金、特定海外債権引当勘定、一般貸倒引当金が含まれています。

4.直接減額を323百万ドル行っています。